

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用） 国語 目 言語文化

教科： 科目： 言語文化 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組・4 組
教科担当者：（1組： 門間 ）（2組： 門（3組： 門間 ）（4組： 門間 ）
使用教科書：（言語文化（筑摩書房））
教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたって国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目	言語文化	の目標：
【知識及び技能】		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を広げたり深めたりすることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】		古典作品、文学的作品において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 語・書・読	評価規準	知	思	態	配 当 時
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解すること。 ・文章の意味は、文脈の中で形成される事を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文、漢文を正確に読む。 古文文法（歴史的仮名遣い・用言） 漢文訓読の基本（訓点・愛読文字） 小説（心情をつかむ） ・教材 絵仏師良秀（宇治拾遺物語） 芥川（伊勢物語） 推蔵（唐詩紀事） 漁夫之利（戦国策） 物語る声を求めて（津島佑子） ・一人1台端末の利用 等	○ ○ ○	A 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解することができる。 ・文章の意味は、文脈の中で形成される事を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解する。 ・文章の構成や展開の仕方、表現の特色について評価する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文書に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文の逐語訳と解釈 古典文法（用言・助動詞・係り結び） 漢文の訓読と書き下し文、解釈 随筆（筆者の心情をつかむ） ・教材 東下り（伊勢物語） 筒井筒（伊勢物語） 雄説（韓愈 唐宋八家文読本） 羅生門（芥川龍之介） ・一人1台端末の活用 等	○ ○ ○	B 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解することができる。 ・文章の構成や展開の仕方、表現の特色について評価することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文書に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	12
2 学 期	定期考査				○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品の文章の歴史的、文化的背景などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文書の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文の逐語訳と解釈 古典文法（助動詞・助詞） 漢文の正確な訓読と解釈 漢文の句法（受身形・仮定形・反語形等） 随筆（筆者の考えを読み取る） ・教材 門出（土佐日記） 「とき見をしのぶ」（土佐日記） 帰京（土佐日記） 管鮑之交（十八史略） 夢十夜（夏目漱石） ・一人1台端末の活用 等	○ ○ ○	C 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品の文章の歴史的、文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文書の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の理解を深める事ができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	12
	定期考査				○	○		1
3 学 期	D 単元 【知識及び技能】 ・時間の経過や地域・文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文の逐語訳と解釈 漢文の正確な訓読と解釈 漢文の句法（受身形・仮定形・抑揚形等） 随筆（筆者の考えを読み取る） ・教材 「なぜ日本語で書くのか」（リービ英雄） 木曾の最期（平家物語） 刺客荆軻（十八史略） ・一人1台端末の活用 等	○ ○ ○	D 単元 【知識及び技能】 ・時間の経過や地域・文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができる。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深める事ができた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ事ができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	14
	定期考査							1
	E 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 逐語訳と解釈 敬語（種類と敬意の対象） 随筆（筆者の考えの読み取り） 句法（詠嘆形・願望形） 諸子百家思想の理解 ・教材 かへや姫の昇天（竹取物語） 朝三暮四（莊子・齊物語） 顔文の表現 ・一人1台端末の活用 等	○ ○ ○	E 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める事ができた。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える事ができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	17
3 学 期	定期考査				○	○		1

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

国語 科目 論理国語

教科： 国語

科目： 論理国語

単位数：

2 単位

対象学年組： 第 2 学年

1 組～

3 組

教科担当者： （1組：三好）

（2組：三好）

（3組：三好）

使用教科書： （論理国語（筑摩書房））

教科 国語

の目標：

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】	
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。		論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをげたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			読	書	読					
1 学 期	A 単元 文章と資料の関係を捉え、日本社会について考えるとともに、統計資料から分析したことを書く 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。【B(1)イ】 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【B(1)イ】 ・「書くこと」において、統計資料を読み取り、自分の書く文章の主張を支えるために必要な情報を抽出している。【A(1)ア】 ・「書くこと」において、根拠となる情報の妥当性・信頼性に着目し、それに支えられる主張を明確に書いている。【A(1)イ】 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をおして他者	・指導事項 段落毎の要点のとらえ方について理解し、要点をまとめ、要約を口頭で発表する。構造主義とポストモダンの考え方を理解する。 ・教材 ・アイオワの玉恵、100パーセントは正しくない科学、物語という欲望、ファッションの現象学、地図の想像力 ・漢字、知識の小テスト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・「一方」「もちろん」「だから」といった接続する語の働きを理解し、文章の展開をとらえている。 ・根拠としての統計資料の情報と主張の情報とを結びつける理由づけについて、作文の中で明確に示している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・統計によるグラフやインタビュー調査の事例と、筆者の主張との関係を捉え、全体の構成を押さえている。 ・統計資料の主旨や内容を、本文全体の内容と照らし合わせながら理解している。 ・作文において、根拠とした統計資料の位置づけに触れながら、自分の主張を明示している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・資料と本文の内容を関連づけながら、筆者の主張を意図的に読み取るうとしている。	○	○	○	11
	B 単元 表現の工夫を考える 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味や内容をあらためて考え、認識や思考や言葉との関係を理解している。【B(1)イ】 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めている。【B(1)イ】 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習課題に沿って、学説の引用に注目し、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	・指導事項 文章の構造に注意し、具体と抽象、対比を意識して読む。近代以前、近代、近代の崩壊とは何かを理解する。沖縄戦の悲劇さを知り、平和について考える。 ・教材 ・本当は怖い「前提」の話、近代の成立一遠近法、沖縄戦を聞く、デジタル化される世界、人新世における人間 ・漢字、知識の小テスト ・一人1台端末の活用 等 Microsoft Wordを用いて構造や引用を意識したエッセイ、資料の作成	○	○	○	【知識及び技能】 ・論理的な文章や、芸術の鑑賞文などで多用される語句の意味を理解し、それらの語を用いて本文の概要を説明している。 ・語彙を増やし、段落構成をつかみ文章の展開を把握している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の構成と論理的な構造を理解し、筆者の主張を明確にとらえている。 ・「余白」の美を強調する筆者の主張を理解し、「日本人の美意識」について掘り下げて読解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「ミロのヴィーナス」と「余白の美学」の文章を比較し、「美」についての考えを深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1
2 学 期	C 単元 科学について理解を深め、字分の意見を明確にしてその功罪について書く 【知識及び技能】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解している。【B(1)イ】 ・本文の具体例と主張の関係、本文記述と表の対応関係について理解している。【B(2)イ】 ・筆者の主張とその根拠をとらえている。【B(2)ア】 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。【B(1)ウ】 ・「書くこと」において、筆者の主張と根拠を押さえた要約をしている。【A(1)ア】 ・「書くこと」において、自身の主張と、それに対する根拠を書き出している。【A(1)イ】 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に、ワークシートなどの学習課題に取り組み、	・指導事項 論点を共有しながら話し合い、よりよい結論を出すために、考えを広げたり深めたりする。大きな物語の崩壊と小さな物語の現代社会について理解した上で、漱石が生きた日本の近代を考える。 ・教材 現代日本の開化、変貌する聖女、異時代人の目、狂子、日本の会話は農業社会か ・漢字、知識の小テスト ・一人1台端末の活用 等 端末を使った調べ学習	○	○	○	【知識及び技能】 ・小見出しこととまとまり同士のつながり、論の展開についてとらえている。 ・本文の主張と根拠について、該当の箇所を指摘した上で、該当箇所を手帳に表現している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・小見出しこととまとまり同士のつながり、論の展開についてとらえている。 ・本文の主張と根拠について、該当の箇所を指摘した上で、該当箇所を手帳に表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・より多くの具体例等自分の根拠を支える事項を積極的に考えながら、意見文を書くこととしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
3 学 期	D 単元 思考の枠組みをメタ認知する 【知識及び技能】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【B(1)イ】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けにしている。【B(1)イ】 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的、多角的な観点から評価している。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文と図版を関係づけて読むことをおとし、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かそう	・指導事項 統計資料をもとに文章を書き、資料を用いながら説明する。愛読する作家の文章の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。『伝説』を見つめ直す。 ・教材 ファンタジー・ワールドの誕生、生物の作る環境、異国は自己責任なのか、模倣と「なぞり」、桜が創った「日本」、日本の会話は農業社会か ・漢字、知識の小テスト ・一人1台端末の活用 等 調べ学習、漢字台本の作成	○	○	○	【知識及び技能】 ・具体例と説明・主張との関わりなど段落相互の関係について正しく理解し、全体の構成をとらえている。 ・「～だが」「～より」など、対比を示す語句、接続表現を理解した上で、本文において対比の関係や論理展開をとらえている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・具体例の示し方や文章と図版との関係などから、書き手の意図を推測し、評価している。 ・対比を示す語句や接続表現に注目しながら文章を読み、「紙の地図」と「デジタル地図」の対比の関係を捉え、その内容を読み取り、自分の言葉でまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・段落構成や文章と図版との関係から書き手の意図をとらえることの重要性を認識し、今後の学習に生かそうとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
3 学 期	E 単元 「自分たちの生きる世界を自分なりに理解し、レポートにまとめる」 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをおとし、語感を磨き語彙を豊かにしている。【B(1)イ】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【B(1)イ】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【B(2)イ】 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【B(1)イ】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集し、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。【A(1)ア】 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特質や眼帯をとらえ直したりしている。【A(1)イ】 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見直しをもって、全体の構成を意識しつつ、積	・指導事項 引用をしながら、自身の考える「言葉と他者との関係」について根拠の明確なレポートを作成する。漱石の「現代日本の開化」と丸山眞男の主張の共通点を見つけ、考えを述べる。バルト、フーコー、ラカン、ハイデガーなどの思想をまとめる。 ・教材 男の絆、女たちの沈黙、トリアージ社会、権力とは何か、ビッグデータ時代の「生」の技法、「である」こと「する」こと ・漢字、知識の小テスト ・一人1台端末の活用 等 調べ学習、論文の作成	○	○	○	【知識及び技能】 ・文章に出てくる語句から、抽象的な概念をとらえ、理解している。 ・文章の内容からグローバル時代における文化の多様性について、自分なりの考えをもっている。 ・目的に応じた情報を収集し、分類することについて正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代のグローバル化の特徴と、文化や国家との関係について十分に理解している。 ・文章の構成や展開について、自分の主張が正しく伝わるように書かれているか、吟味して、文章を整えることが十分にできている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見直しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめている。さらに今回学んだことを他の単元の学習活動に活かそうとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1
										合計
										70

※ 生徒の習得状況に合わせ、進度の変更や教材の追加を行うことがあります。

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：2 単位
対象学年組：第3学年 1組～3組
教科担当者：現代文演習：①山村亜希 ②三好健介
使用教科書：（「論理国語」（大修館書店）、「アップリフト現代文 入試標準」Z会）

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	評論文を読み、文章構造に即した正確な読解力と、問いに的確に応じた記述力を養う。	・ポッカリあいた心の穴を少しずつ埋めてゆくんだ ・赤西彌太 ・日本語が亡びるとき ・日本の美、西洋の美 ・生命の政治学	【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	12
		定期考査		○	○		1
		・姉と妹 ・学びとは何か——（探究人）になるために ・うわさとは何か		○	○	○	8
		・もうひとつの季節 ・青春について		○	○	○	4
		定期考査		○	○		1
2 学 期	評論文に加え、随筆、小説を正確に読み取る読解力と、問いに対応した記述力を養い、大学入試に対応できる実践的な力を身につける。	・文明のなかの科学 ・風景額・実践編 ・星々の舟 ・「好きなこと」とは何か？ ・波打ち際に生きる——研究と創作のはざままで	【知識・技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	○	○	○	12
		定期考査		○	○		1
		・さまよう死生観 宗教の力 ・無口な友人 ・恋愛論 ・メタファーと科学的発見 ・深い河		○	○	○	14
		定期考査		○	○		1
3 学 期		・記述問題の個別指導					
				合計			
				54			

